

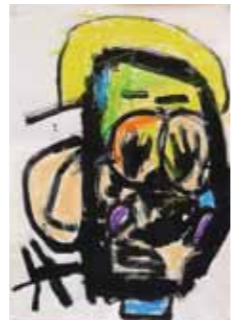
横浜市 こどもの美術展 2011



「横浜市こどもの美術展」は、開館(1964年)の翌年より続く、子どものための夏休みの一大イベントです。横浜市内に在住か在学の小学生以下のお友達であれば誰でも出品できます。元気に満ちあふれた子どもたちの作品で、横浜市民ギャラリー全館がいっぱいになる大迫力の展覧会。「横浜市こどもの美術展」で“作品を見る楽しみ”“作品を見てもらううれしさ”、そしてワークショップで“つくる楽しさ”を実感してください!大人向けにはスペシャルトークもおこないますので、ぜひふるってご参加ください。



昨年度会場の様子



「ステキなママ」 根本拓幹 / 4歳



「最強のヘラクレス」 堀澤孝史 / 4年生

掲載作品はいずれも昨年度出品作品。年齢・学年は当時のものです。



ハマキッズ・アートクラブ特別版!

「横浜市こどもの美術展 2011」自由参加ワークショップ

会期中におこなわれる自由参加プログラム。開催時間中でしたら、誰でも自由に参加できます。

- ①アートで“縁日” (横浜美術大学企画・運営) 7月30日～8月1日(13:00～16:00)
横浜美術大学の学生と日本の夏休みを楽しもう。
- ②漢字で遊ぼう (書家・熊峰氏) 8月2日～8月4日(13:00～16:00)
書家熊峰先生と文字の秘密を楽しむプログラム。白と黒の世界へようこそ。
- ③革で作ろう! 旅するポケット (土屋鞆製造所) 7月30日～8月4日(10:00～17:30)
牛革を使ってどこへでも移動できるポケットを作ります。

参加費
無料

参加
自由

ワークショップに
参加してみよう!

大人向けイベント 澄川喜一先生のスペシャルトーク

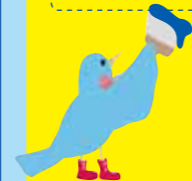


専門家による、大人向けのトークイベントです。今年度は、東京スカイツリーのデザイン監修の彫刻家・澄川喜一先生のスペシャルトークです。保護者の皆様、子どもの造形に関わっている指導者の方、ぜひ、お話を聞きに来てください。

時間 7月31日(日) 14:00～14:45 聴講無料
会場 横浜市民ギャラリー展示室(事前申込不要)

【講師プロフィール】
1931年鳥根県生まれ。彫刻家。木を素材に、日本刀や神社・仏閣の屋根にみられる「そりのあるかたち」で日本の伝統美を追求。1995年から2001年まで東京藝術大学学長。1979年平畑田中賞、2003年芸術院恩賜賞受賞、2008年文化功労者。現在、横浜市芸術文化振興財団理事長、鳥根県芸術文化センター長・石見美術館館長などを務める。

中学生 & 高校生ボランティア大募集!!



こども展をつくり上げる裏方、または実際の展覧会場で活躍してくれる、中学生、高校生のボランティアを募集しています。こども展に出品歴がなくても大歓迎!スタッフが丁寧にレクチャーいたします。一緒に楽しい展覧会にしましょう。

- 応募期間 ～7月11日(月)
- 応募資格 活動日時に参加できる、中学生もしくは高校生(中学生と高校生では内容と活動日時が異なります)
- 応募方法 横浜市民ギャラリーホームページもしくは電話にて詳細をご確認の上、専用の申込み用紙でFAX、郵送、Eメールでお申込みください。

職人が手作りする、丈夫な土屋鞆のランドセル。

6年間ずっと、
ひとりにひとつ。

お店とWEBで、
8/1(月)より販売スタート!

tel: 03-5647-5123 (平日 10:00～17:00)
http://www.tsuchiya-randoseru.jp/



このかたちは?

TSUCHIYA'S
RANDOSERU
EXHIBITION

丈夫さのひみつはイチヨウ型のマチ。実物を確かめに、ぜひご来場ください!

土屋鞆の
『ランドセル
出張展示会』
in 横浜市民ギャラリー
(ワークショップ会場併設)

期間中 毎日 10:00～18:00

土屋鞆製造所

横浜市 こどもの美術展 2011

7/30(土) → 8/4(木)
10:00-18:00 ※入場は17:45まで



今年はこの2色!

出品するとハマキッズ・コロロの
バッジをもらえるよ

横浜市民ギャラリー
恒例の
夏休み子ども向けイベント!
元気な子どもの絵が
大集合します!

出品・
入場料無料

会期中には誰でも参加できる
楽しいワークショップや、
スペシャルトークも
開催されます。
(詳細は裏面をご覧ください。)



主催 横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
後援 横浜市文化観光局、横浜市教育委員会、神奈川新聞社、tvk、アール・エフ・ラジオ日本、FMヨコハマ、横浜市ケーブルテレビ協議会、横浜市子ども会連絡協議会、横浜市PTA連絡協議会、(社)横浜市幼稚園協会、横浜市幼稚園父母の会連合会
助成 (財)横浜市安全教育振興会



横浜市こどもの美術展について

「横浜市こどもの美術展」は横浜の子どもたちが自由な発想で元気いっぱい描いた作品を広くご覧いただくことで、親子の対話の場を提供するとともに、美術への関心を高め、子どもたちの健やかな成長を応援することを目的としています。自由な発想と豊かな表現にあふれた子どもの作品を大募集します。

応募のしかた

応募資格

横浜市在住・在学の小学生以下の児童・幼児(0歳～12歳)なら誰でも応募できます。
(出品者全員に参加賞として、ハマキッズ・コロロ缶バッジをプレゼントします)

応募できる 作品の種類

作品の展示(飾りつけ)は横浜市民ギャラリーで行います。

平面作品 画材、技法、テーマは自由

[個人制作の場合]

応募点数……1人1点。

大きさ……四つ切画用紙(38.0×54.0cm)。絵の縦横は自由。
※それ以下のサイズのは必ず四つ切画用紙に貼り付けてください。

[グループ制作の場合]2人以上何人でも結構です。

応募点数……1グループ1点。

大きさ……78.8×109.1cm(模造紙サイズ)以内。厳守してください。

立体作品 材料、テーマは自由

[グループ制作のみ]

応募点数……1グループ1点。

大きさ……底の大きさは、一番小さい所で20cm以上、一番大きい所で50cm以内。
※自立できるものに限り。天井からのつり下げはできません。

応募方法 (作品の受付)

- 1 右ページの「作品カード」を切り取り、必要事項を記入した後、作品の右下にのりで貼り付けてください。作品1枚に対し、作品カードを1枚貼ります。兄弟姉妹やお友達と応募する場合、団体で応募する場合など、作品カードが複数必要なときはコピーして使ってください。※ここまでの作業は作品の受付前に必ず済ませておいてください。
- 2 必ず下記の受付日時に横浜市民ギャラリーの地下1階アトリエまで、作品を直接持ち込んでください。《郵送、宅配便での受付は出来ません》
「出品申込用紙」に必要事項を記入し、作品を提出してください。
出品申込用紙にもとづいて受付をします。
- 3 お渡しする「作品引換え票」を返却日まで大切に保管してください。
《展示準備の都合上、作品受付日以降の受付は一切できませんので、ご了承ください》
- 4 上記2について別途ご相談のある団体は事前にご連絡ください。

作品受付日	7月18日(月・祝)、19日(火)
受付時間	10:30～16:00(両日とも)
受付場所	横浜市民ギャラリー地下1階アトリエ

のりしろ

貼り付け例

作品カード 黒いサインペンでわかりやすく、大きな字で記入

- 正面から見て右に貼ってください。
- 「作者のコメント」欄は、何を描いたのか、どんな気持ちで描いたのか、など自分の作品について、一言コメントを書いてください。小さいお子様は、保護者や先生がお子様のお話を聞いて書いてあげてください。

↓この線に合わせて貼ってください↓

受付番号	整理番号	—
------	------	---

太枠の中のみご記入ください

題名

作者またはグループ名 ふりがな (学年)
(歳)

作者の コメント

キリトリ線

キリトリ線

返却方法

受付日にお渡しする「作品引換え票」をお持ちください。
番号、作品を照合し作品をお返しします。

作品返却日	8月10日(水)、11日(木)
返却時間	10:30～16:00(両日とも)
返却場所	横浜市民ギャラリー地下1階事務室

※作品はゆうパック(着払い)でも返却することができます。受付時にお申込みください。
※返却方法を変更する場合は、なるべく早くご連絡ください。ご連絡なくお引取りに
いらっしゃらない場合は、着払いにて送付させていただきますので、ご了承ください。



ハマキッズ・コロロ について

1965年の第1回「横浜市こどもの美術展」で誕生して以来、みんなに親しまれているキャラクターです。ずっと名前がなかったのですが、2006年に公募によって名前がつけました。三角形の体に楕円形の顔、まん丸な目が特徴です。缶バッジの色は毎年変わりますよ。

お問合せ、観覧会場、作品受付・返却場所

横浜市民ギャラリー こども展担当

〒231-0031
横浜市中区万代町1-1(教育文化センター内)
TEL: 045-224-7920
FAX: 045-224-7928
e-mail: ycac@yaf.or.jp
http://www.yaf.or.jp/ycag/

